

町田通勤寮だより

NO 63

2017年 5月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045

東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

寮長 三階 広明

都内6ヶ所の通勤寮が、昨年度までに民間移譲がなされたのはすでにお知らせしているところです。それと併せて古い施設の建て替えが行われており、葛飾通勤寮の新しい施設が完成し、3月5日に開所式が行われ、18日に施設の移転（引っ越し）が行われました。

開所式に合わせて内覧会が行われたのですが、設計のコンセプトは「施設らしくない施設」ということで、外観も内部の造りもまるで「ホテル」のようなイメージでした。現在の基準では当然の「完全個室化」がなされており、その他の設備も整備され、参加した寮長の間では「こんなところに住んだら出たくなくなっちゃうね。」などの冗談も出る程でした。

現在、大田通勤寮も工事が進んでおり、10月には移転の予定です。江東通勤寮は移転先の用地が決まり、着々と次の段階に進んでいるようです。

一番「新しい」とは言っても築22年ですが、町田通勤寮の建て替えは早くても20年先？と考えた時に、「強みは何なのだろうか」

と考えました。施設・設備という「ハード」面での改善には当然限界があります。「ソフト」面＝「支援の中心」で勝負するしかないというのが結論です。これまで当たり前になってきていることを、更に充実させていくことに引き続き努力してまいります。

さて話は変わりますが、4月20日～21日に関東地区宿泊型自立訓練事業等協議会（旧知的障害者通勤寮）の施設長会議がありました。例年この時期に開催され、全国状況等が報告されるのですが、その中で4月1日現在の事業所の数が30ヶ所と報告されました。これは「知的障害」の方を対象とした事業所数で、制度改正以来減少してきていますが、この数で落ち着くのではないかとの報告もありました。現在、全国的には「精神障害」の方を対象とした事業所が20ヶ所以上運営されており毎年増えています。軽度知的障害の方の地域移行を支える事業所として、今後の在り方についての様々な議論もされました。「町田」にできること、「町田」にしかできないことを考えていきたいと思えます。

地域生活学習へ地域生活援助センターフクシア説明会

平成29年3月19日（日）

主任支援員・サービス管理責任者 谷本 洋

毎年この時期に実施されるグループホーム見学会ですが、今回は地域生活援助センターフクシアに焦点を当て、フクシア上妻支援員・大槻支援員により、フクシアのグループホーム（法人内グループホーム）を利用した場合の支援の内容やお金のことなど詳しく講義いただき、参加された利用者の皆様も真剣に耳を傾けていました。

改めて説明いたしますと、法人内グループホームは町田通勤寮と同じ成瀬駅近隣に現在15ユニット点在しており、それらを統括運営するのが地域生活援助センターフクシアの役割です。具体的には利用者の皆様の個別支援計画の立案や金銭管理、就労支援、通院支援、各種手続きの代行及び様々な相談対応など、利用される皆様が地域で円滑にかつ安心して生活できるためのコーディネートを行っております。

ただし、「施設」である通勤寮と「地域」であるグループホームは異なる点も多く、ここ近年はグループホーム移行された方がシステムの違いに戸惑うことが多く見受けられるようになりました。そこで、今回は例年ニーズの高い法人内グループホームを選ばれた場合の支援のシステムを、資料を使い丁寧に説明していただきました。その後、男女に分かれ、それぞれ男性寮・女性寮各2ユニットを、間取り図を手に見学されました。

参加された皆様の感想は様々で、「安く住めると思っていたが」意外とお金がかかるんだ」という声もあれば「自分はまだ一人では難しいことが多いので、手伝ってくれるのは助かる」「意外と広い」等の声も聞かれ、各自ぼんやりと想像していたグループホームのイメージと照らし合わせ、様々な印象を持たれた様子でした。また、既にグループホームを利用された経験を持つ方は、それまで住まっていた物件と比較する等、各々の視点で見学をされていました。グループホームは様々で、今回見学させていただいたフクシアの「法人内グループホーム」がすべてではありません。運営母体によって、支援の仕組みや物件の状況は様々ですが、具体的なイメージの醸成に繋げることができた時間でした。

今回の見学会は通勤寮で2年目を迎える利用者の皆様を対象に実施。通勤寮での生活がスタートしたと思いきや早くも半分が過ぎてしまった方もいます。のんびりしているとあっという間に退寮後の生活を決めなければいけない時期です。多少なりとも気持ち引き締まったのではないのでしょうか。2年間という短く貴重な時間を有意義に過ごし、それぞれが希望する環境・また

必要な支援を得られる環境を選択し、より充実した地域生活へと歩を進められるよう、今後も様々な取り組みにより進路選択の情報提供をしてまいります。と思います。

とてもわかりやすい資料と丁寧なご説明・ご対応いただき、フクシアの皆様にも大変感謝申し上げます。

オリエンテーション

支援員・新井 政暁

新年度を迎える4月は学校や会社を始め、様々な場所で新生活がスタートします。町田通勤寮も同様で、毎年この時期にたくさん新規利用者さんが入寮されます。入学式や入社式、新生活に関係する行事は色々ありますが、町田通勤寮では毎年4月にオリエンテーションが開催されます。

オリエンテーションの内容は、①寮長挨拶及び職員紹介 ②通勤寮での生活の流れの説明 ③生活の決まりについて ④金銭支援について ⑤一年間の行事について ⑥食事について ⑦地域生活（通勤寮卒業後の進路）について ⑧自治会について 以上のようなものとなっております。

新規利用者さんは、このように町田通勤寮での生活に関する説明を受けることで、ここでの生活の仕組みやルールを理解し、また、目標や夢を設定する良い機会にもなることと思います。2年目以降の利用者さんにとっても、自分の生活を見直し、初心に戻るといふ大切な意味合いもあるように感じられます。慣れは往々にしてダレに繋がってしまえますが、ここで今一度気を引きしめて、これからの長い人生にしっかりと目を向けられるきっかけになればと思っております。

さて、この町田通勤寮オリエンテーションが、今年度は4月9日（日）に開催されました。2時間近くの長丁場でしたが、今年度は昨年度と比べても

利用者の皆さんが集中して説明を聞いている様子が窺え、積極的に質問する姿もたくさん見ることができました。比較することは好きではないのですが、敢えてこのように昨年度と比較したことは理由があります。昨年度のオリエンテーションにあまり積極的に参加できなかった利用者さんは、今年度も2年目として参加していただきました。本来ならば通勤寮での生活に慣れて、ダメてしまいかねない、昨年度よりも適当に過ごしてしまう可能性もありました。しかし彼らは今年度、しっかりと説明に耳を傾け、質問をしたりしておりました。そういった姿を見て、大きな成長を感じるとともに、とても嬉しく思いました。

多感な時期で慣れないことも色々であり、新生活というのは誰もが苦勞することだと思えますが、寮長はじめ支援員、事務、調理、警備と、職員一同で精一杯サポートしていきます。皆が安心して生活を送り、それぞれの目標や夢に向かって、成長した姿で町田通勤寮を巣立って行く日を楽しみにしております。



バーベキュー

主任支援員・武智 里峰

平成29年4月9日(日)、年度最初の行事として、オリエンテーション後、寮の食堂・中庭を中心に『利用者の親睦を図る』ことを目的としてBBQを実施しました。

男性陣は、率先して火起しや肉・野菜を焼く人もいれば、食べる事に必死な人もいたりして、楽しみ方は人それぞれでしたが笑顔が溢れており、焼き場や食事を機に交流することができた様子でした。

女性陣も様々。他者との交流が苦手な人も、おにぎりを一緒に作ったり、食べることがきっかけで話す事が出来たりと、交流を持てるようになった様子でした。

毎年、実施し感じています。人は何かのきっかけがあることで、吹っ切れたり、落ち着いたりすることが出来ます。また、こういった機会に他者と交流することによって、不安が取り除かれたりもします。BBQもその一つで、BBQをきっかけとして、交流が深まり、緊張がほどけ(ほどけすぎる方もいますが…)、馴染んでくるのだと、毎年感じます。

『集団が苦手』という方も多くいます。そんな方でも楽しむことができてしまうのもBBQなのです。

毎年、在籍している利用者が違うので、雰囲気も異なります。しかし、BBQを機に生活の幅が広がり、ここから寮生活がスタートするのだという事は共通のようです。

さて、今年度はどんな一年になるか?とても楽しみに感じました。

町田通勤寮自治会レポート

支援員・入江 就仁

ご存じの方も多いかと思いますが、町田通勤寮には利用者さんの自治会があります。自治会は学校でいう生徒会のようなイメージで捉えていただければと思います。昨年度、自治会を運営していた会長・副会長・書記の方が任期満了となったため、4月27日(木)自治会選挙が実施されました。

今回は5名定数(会長1名・副会長2名・書記2名)に対して、6名の利用者さんが立候補され、演説では「自立のため、皆さんが進んで話し合いを持てるようにしていきたい。」「皆さんの意見を取り入れて頑張ります。」など各々が自治会への意気込みを有権者に伝えていました。

選挙の結果、会長・副会長・書記が承認され、新しい体制で無事スタートを切ることができました。早速、5月に自治会を開催する予定で主に役割分担、今後の運営について話し合う予定です。

今後、利用者さんの代表として選出された役員の方が、リーダーシップを発揮して、通勤寮生活が心地良いものとなるよう期待しています。

調理実習

栄養士・調理員 遠藤 小百合

4月16日(日)、今年度初めての調理実習を行いました。

この春入寮された2名の利用者さんを含め、今回は4名で和定食作りに挑みました。献立は「和風ハンバーグ・ほうれん草のソテー・かぼちゃプリン・ごはん・味噌汁」と盛りだくさん。初めて参加される方のために、まずはしっかりと手洗い、身支度を整えるところからスタートし、調理にとりか

かりました。

作りながら話を聞くと、参加されたみなさん調理が大好きということでした。野菜の切り方や下ごしらえの仕方、なかなか手慣れた様子で、それぞれがしっかりと役割を果たして調理してくれていました。どの料理も完成度が高く、作った当人も大満足の表情を浮かべていました。

調理実習では、将来自炊をしていく時に役に立つように、時短料理やストック出来るもの、また時には手の込んだ料理などに取り組みればと考えております。

余談ではありますが、実は今回、何名かにエプロンをお貸ししたのですが、使用後にきちんと洗濯・アイロンをかけて返却してくれました。そういったところにも気配りが出来る姿勢に感動致しました。

今回は6月18日(日)を予定しています。みなさまのご参加、お待ちしております。



着任職員挨拶

このたび4月より、町田通勤寮に異動になりました西岡理智子と申します。

つるかわ学園で3年、グループホームで5年勤めてまいりました。今までの経験だけでは、至らないことが多くありますので、勉強をしながら支援させて頂きたいと思っております。どうぞよろしく願います。

バスケのこと

4月15～16日、埼玉の深谷市で行われた第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ大会」バスケットボール競技関東ブロック地区予選会が行われ、通勤寮利用者の根津友和さんが参加されました。

利用者・根津 友和

同大会に、東京都代表の一員として参加しました。入寮してからしばらくは、仕事とバスケの両立に苦労しました。しかし高校時代の恩師のアドバイスを受けながら、少しずつ自分のペースをつかむことが出来、以前よりは両立が出来るようになってきたと感じています。大会の結果は優勝で、全国大会出場権を勝ち取りました。努力が報われて良かったです。全国でも頑張りたいと思います。

（両日観戦しましたが、よく走り、キーププレイヤーとして沢山の得点を決めていました。それはともかく、チームメイトだけでなく対戦相手への気遣いも出来ており、本人の優しさや性格の良さが試合中にも表れておりました。そういった姿を見られたのが、何よりも嬉しいことでした。本人はバスケと仕事の両立が出来るようになったと言っておりますが、それだけではなく、通勤寮での生活も、しっかりと2年目として送ることが出来ているので、これからも体を壊さぬように気を付けながら、広い世界へ向かってどんどん成長していったほしいと感じております。

支援員・新井政暁

今後の主な予定

- 5月23日（火）就労講座
- 5月27日（土）東京都障害者スポーツ大会（卓球・ボウリング・陸上）
- 5月28日（日）東京都障害者スポーツ大会（陸上）
- 6月 性講座
- 7月9日 13時45分 保護者会
- 7月15日（日）ボウリング大会・納涼会
- 7月 保健講座

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。

<http://tsurugaku.sakura.ne.jp/wp01/jigyosho/tsukinryo/ryodayori/>